

*** コーナーキューブ発見**

コーナーキューブは光を来た方向に返す反射プリズムである。人類が初めて月面に着陸したアポロ11号の月面活動中で月面に設置した観測器の中にコーナーキューブを並べた地球と月との距離を測定するためのレーザー反射板(写真1)があった。このレーザー反射板はコーナーキューブが並べられた50cm角程度のものであったと記憶している。



写真1 アポロ11号が月面に設置したレーザー反射鏡(NASA 提供)

アポロ11号は他にも地震計など様々な観測装置を月面に設置した。月面に置かれたレーザー反射板は地上から発射したレーザー光線の往復時間を測って地球と月の距離を精密に測ろうという試みであった。

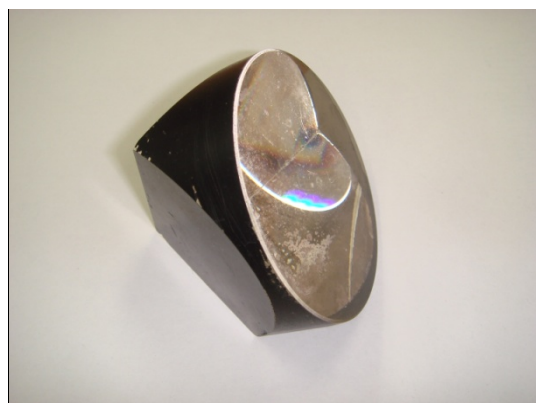


写真2 直径75mmのコーナーキューブ

そのプロジェクトの一つが古在由秀元台長を中心に行った堂平観測所に置かれた月レーザー望遠鏡である。しかし、このプロジェクトは失敗した。今回発見したコーナーキューブ

ブの素性は分からないが、この月レーザー望遠鏡プロジェクトの頃のものであろう。結構大きなもので直径 75mm のもの(写真 2)である。

このコーナーキューブには「レーザー逆反射プリズム、これで測距の Calibration を行った」という紙片が付いていた。写真 3 は堂平観測所に建設された月レーザー 3.6m 望遠鏡である。



写真 3 堂平観測所にあった 3.6m 月レーザー望遠鏡

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp